

報道発表資料の配付日時 11月15日(水) 10時00分

発表項目 (行事名)	土砂災害を考える防災講演会の開催について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>道では、土砂災害から人命を守るため、土砂災害に関する知識の普及を目的に、次の要領で防災講演会を開催します。</p> <p>当日は、4名の講師にご講演いただき、道民の皆様が土砂災害が発生するおそれのある土地の区域を明らかにする土砂災害警戒区域等の指定へのご理解や、地域防災力を高め、「土砂災害から自分の身を守る」ことについて考える良い契機として頂きたいと考えております。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 日時：令和5年(2023年)11月28日(火)14:00～16:30(開場13:30)</p> <p>2 場所：函館市中央図書館視聴覚ホール(函館市)</p> <p>3 講師 山口 真司(北海道大学 特任教授) 金 俊之(函館工業高等専門学校 准教授) 山口 明(函館地方気象台 次長) 石田 剛司(函館市防災士会 防災士)</p> <p>4 その他 ①入場無料 ②参加自由(11月20日を目処に下記まで申込ください) TEL：011-231-4111(内線：29-423) メール：kensetsu.kasen2@pref.hokkaido.lg.jp ③駐車場の台数に限りがあるため、なるべく公共交通機関のご利用をお願いします。</p>		
参考	<p>過去の開催状況は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年(2015年)9月 4日 札幌市 ・平成28年(2016年)9月 9日 小樽市 ・平成29年(2017年)9月 5日 函館市 ・平成31年(2019年)3月 7日 室蘭市 ・令和元年(2019年)6月19日 釧路市 ・令和2年～4年は、コロナのため非開催 		
報道(取材)に当たってのお願い	広く道民の皆さまに参加を呼びかけたいので、積極的な報道をお願いいたします。		
他のクラブとの関係	同時配付 同時レター	渡島総合総合振興局記者会	
担当(連絡先)	建設部土木局河川砂防課砂防係(担当者：補佐 松田) TEL ダイヤルイン 011-204-5560 内線 29-404		

土砂災害を考える防災講演会 in 函館

～土砂災害から
自分の身を守るために～



平成30年9月胆振東部地震
厚真町がけ崩れ



平成28年8月 ベケレベツ川（清水町） 土石流
画像提供：砂防学会北海道支部

場所 函館市中央図書館
視聴覚ホール
函館市五稜郭町26番地1号
TEL 0138-35-5500

入場無料 定員120名
会場整理の都合上、お申込願います
申込先は、裏面をご覧ください

日時 令和5（2023）年**11月28日（火）**
14:00～16:30（開場13:30）

近年、全国各地で活発な前線や線状降水帯などによる記録的な豪雨で土砂災害が頻発し、多くの人命や財産が失われており、今年も福岡県久留米市で発生した大規模な土石流災害など、毎年のように土砂災害による甚大な被害が発生しているところでは、

道内においても、平成26年に礼文町で発生したがけ崩れにより2名の方が犠牲となりました。また、平成28年には、北海道に4つの台風が上陸や接近したことによる大雨で土石流が発生したほか、平成30年9月には北海道胆振東部地震による大規模な土砂災害、昨年6月の北見市で土石流災害など、道内でも、たびたび土砂災害が発生しており、私たちの暮らしに大きな被害を与えています。

このことから、このたび、土砂災害や防災に関する知識の普及を目的として、函館市で防災講演会を開催します。

講演は、砂防・土砂災害の専門家である北海道大学の山口特任教授から最近の土砂災害の特徴を、函館工業高等専門学校の金准教授から自然災害の激甚化とこれからの防災・減災について、函館地方気象台の山口次長から道南の大雨と防災気象情報について、さらに、地域の防災・減災力向上のための活動に取り組まれている函館市防災士会の石田防災士をお招きし、お話を頂くプログラムとなっております。

本講演が、土砂災害の発生するおそれのある土地の区域を明らかにする土砂災害警戒区域等の指定へのご理解や、みなさまが地域防災力を高め、「土砂災害から自分の身を守る」ことについて考える契機となりましたら幸いです。

PROGRAM

13:30 開場

14:00 開会

14:10 **最近の土砂災害の特徴について**
山口 真可（やまぐち しんじ）氏

北海道大学 広域複合災害研究センター 特任教授

14:50 **自然災害の激甚化！**
これからの防災・減災はいかにして？
金 俊之（こんとしゆき）氏

函館工業高等専門学校 社会基盤工学科 准教授

15:40 **道南の大雨と防災気象情報**
山口 明（やまぐち あきら）氏

気象庁 函館地方気象台 次長

16:10 **地域の防災について**
石田 剛司（いしだ たけし）氏

函館市防災士会 防災士

16:30 閉会（終了予定）

アクセス



・函館バス「中央図書館前」下車後すぐ

・市電「五稜郭公園前」電停から徒歩約15分

・駐車場は収容台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

主催：北海道、(公社)砂防学会北海道支部
後援：函館地方気象台、函館市、北海道大学広域複合災害研究センター、函館工業高等専門学校
協力：北海道砂防ボランティア協会



北海道

その先の、道へ。北海道
Hokkaido. Expanding Horizons.

土砂災害を考える 防災講演会 in 函館

CPD対象

～土砂災害から
自分の身を守るために～

平成19年7月 函館市入舟町山背泊
がけ崩れ

令和4年6月 開成峠左3の沢川（北見市）
土石流被害

平成26年8月 礼文町 がけ崩れ

講師紹介

14:10～14:50

最近の土砂災害の特徴について

○講師：山口 真司
(やまぐち しんじ)

【現職】

- ・北海道大学
広域複合災害研究センター 特任教授
- ・博士（工学）、技術士（建設部門）

【略歴】

- ・京都大学 農学部 林学科
- ・鳥取大学大学院 工学研究科 後期博士課程
- ・国土交通省（建設省）
- ・国土技術政策総合研究所 総合技術政策研究センター
- ・国土技術政策総合研究所 土砂災害研究部
- ・国土交通省 水管理・国土保全局砂防部保全課
- ・一般財団法人 砂防地すべり・技術センター
- ・令和4年6月より現職



14:50～15:30

自然災害の激甚化！これからの防災・減災はいかにして？

○講師：金 俊之
(こん としゆき)

【現職】

- ・函館工業高等専門学校
社会基盤工学科 准教授
- ・博士（農学）、技術士（建設部門）

【略歴】

- ・岩手大学大学院 連合農学研究科 博士課程
- ・砂防エンジニアリング株式会社
- ・青森県土木技術職員
（東日本大震災をきっかけにUターンで地元・青森へ）
- ・令和5年4月より現職
（これからの自然災害の防災・減災を一緒に考える人材育成のため函館へ）



15:40～16:10

道南の大雨と防災気象情報

○講師：山口 明
(やまぐち あきら)

【現職】

- ・気象庁 函館地方気象台 次長
- ・気象予報士

【略歴】

- ・函館市出身
- ・昭和58年3月入庁
- ・函館海洋気象台、札幌管区気象台ほか
道内の各気象官署で勤務
- ・函館地方気象台 観測予報管理官
- ・令和5年4月より現職



16:10～16:30

地域の防災について

○講師：石田 剛司
(いしだ たけし)

【現職】

- ・函館市防災士会 防災士
- ・函館市勤労者総合福祉センター
（サン・リフレ函館）所長

【略歴】

- ・函館市出身
- ・元刑務官
北海道、関東、関西の矯正施設で勤務し令和元年退職
函館市に戻る
- ・令和2年6月より現職



【お問合せ・申込みはこちら】 令和5年11月20日(月)が切

北海道建設部土木局河川砂防課

電話：011-231-4111（内線：29-423）

メール：kensetsu.kasen2@pref.hokkaido.lg.jp

※住所・氏名・連絡先を

お知らせください（様式任意）

（申込無しでも参加可能ですが、定員の場合は
ご入場いただけない場合があります）



土砂災害警戒区域や
土砂災害警戒情報は
ホームページで確認
できます。
「北海道土砂災害
警戒情報システム」
をご覧ください。

